

## つぶ・つぶグルー お取扱説明書

この度はお買い上げ頂き誠に有難うございます。ご使用前に必ずよくお読みの上、大切に保管して下さい。

本品使用時に熱湯を使用致します。そのため本品以外にご用意いただくものがございます。  
(いずれも一般家庭にある一般的なものにて別売)

耐熱性のある容器	熱湯	割りばし
 <p>耐熱ガラス容器など、熱湯と本品を入れて使用します。</p>	 <p>熱湯 (90℃位) を使用するために使用します。電気ポットがあると便利です。</p>	 <p>耐熱性の容器から本品を取り出す時に使用します。</p>

### △ ご注意下さい

ボトル記載のものと一緒に読んで下さい。

- ※食べ物ではございません。
- ※使用時の初めに熱湯を使用するため、お取り扱い説明書の使用の流れをよくお読みいただき、**不注意による火傷に十分ご注意ください。**
- ※凹凸のあるアクアリウム用の素材同士の接着専用です。素材同士でも平坦な接着面同士は接着力が弱い場合がございます。正しい使用方法の上で接着力を強めたい場合は接着面に対して本品の量を増やす必要があります。
- ※本品自体は繰り返しの使用が可能ですが、基本的には接着剤という特性上、素材同士をくっつけてしばらく経過後に、それをはがして再使用の際は素材の種類によって特に材質が柔らかい岩であればその表面の一部、流木であれば流木の表面などが、**強固に接着した後、それをはがすこと**によって多少の素材へのダメージとなりえます (※1)。本品自体には多少であれば異物が混入していても機能的に大きな影響はありませんが、上記の理由により接着の失敗時には早めのやり直し (接着硬化する前に) を推奨、また唯一無二の素材の使用時は特に上述をご考慮下さい。



### ● ご使用方法

一般的な接着剤のイメージと少々異なるため、初めての使用は実際の作業に入る前に楽しみながらの練習として一度お試しをおすすめ致します。

下記はお試しとして適当な小石同士を接着する場合の作業の流れです。

- 手順1** 接着する予定の小石の接着面をふいて汚れを落としおきます。
- 手順2** 本品を用意します。分量のイメージですが本品のキャップを利用すると最終的なボリューム感は下記のイメージです。(分量は接着予定のサイズによりますが後で増減調整可能です。)



本品のキャップ内  
半分分の粒の分量で



左図のように手のひらにちょこんと乗る位の量となります。小石同士の接着はこれでも少々多い位になります。

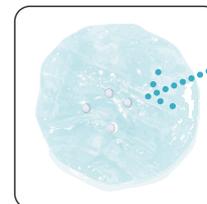
P.1

- 手順3** 耐熱性のある容器に本品の粒をそのまま適量入れます。グルーへと変質させるために容器に電気ポットから熱湯 (90℃位) を容器にやや多めに注ぎ、そのまま2~3分間さわらずに放置致します。徐々に粒の白色が透明へと変じ、粒がそれぞれくっついていきます。



※熱湯を入れた後はしばらく本品に触らないで下さい。単純に熱いということもありますが、透明に変化してすぐに触ると本品が容器へ不要にくっついたり、取り出そうとした割りばし等へもくっつく原因となりますので**次の作業は数分経過後から行います。**

- 手順4** 2~3分経過後に、粒がそれぞれくっついてまとまった状態のまま割りばしでそれを取り出します。それを取り出し、少し空気中にあることで触れる温度に多少冷めるので、**触っても大丈夫かどうか十分に気をつけながら**手でこねてジェル状にします。



※この透明ジェルの中に粒がまだ白い状態のものが混じる場合、温度が浸透していない場合があるため、熱湯の温度が足りていたかどうか確認の上、状況によっては再度これを手順3のように熱湯を注ぎ直して下さい。

※このジェルの分量が多いかな、少ないかな、という場合はこの時に千切ったり、手順3で粒を足して作成したジェルを継ぎ足して調整して下さい。  
(千切って切り離れたジェルのそれをそのまま放置しておいておくと固化していきます。使わない場合はこれを保管しておいて、然るべき時に手順3を実行することで再度グルーとして使用することができます。)



※本品は上図のように、熱湯を加えてジェル状になったり、そのまま冷めていくことで固化するのを繰り返します。接着するのはこの固化する過程の中でくっつけていきます。この性質を利用して接着のやり直しや繰り返しの使用ができるようになっています。

- 手順5** 接着しようとしている小石の一つへジェルをしっかりと押し付けます。



※作業途中の時間経過によっては透明ジェルが少しずつ白く固化していきますが多少であればそのまま作業を続けられます。

P.2

**手順6** 先ほどの小石にもう片方の小石をなるべく隙間がないように押し付けて接着調整していきます。瞬間接着ではないので、そのまま放置しておくとしずつつジェルが固化していきます。



※小石を押し付けて仮接着の段階で、ジェルがしっかり固化していない内についたかどうかの確認等で小石をはがしてみたりすることで接着ができない失敗の原因（手順3よりやり直し）となるので**押し付けた後はしっかりと数分放置させておくのがポイント**となります。

※ジェルの分量と接着に関してはジェルの接着面積及び隙間の具合で変わります。



★基本的な接着の流れは上記となります。次は繰り返し使う時の流れとなります。

**手順1** 先ほどの接着させた小石同士をはがします。はがすと本品部分は固形の塊となっています。



※この塊に多少の付着物や素材の一部がついていても本品自体の機能に大きな影響はありません。

**手順2** この塊を先ほどと同じように耐熱性のある容器へ入れて熱湯（90℃位）をやや多めに注ぎ、透明へと変化するまで待ちます。塊に厚みがあると熱が浸透するまで少し時間がかかるため、状況によって下記のように入れ直し等にて行います。

しばらく経っても内部がまだ白いままの時は

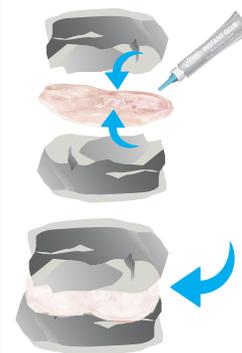


※一度割りばし等で取り出して軽くこねながら形状を薄くし、先ほどの熱湯は冷めているので一度捨ててから、再度この手順2を行うことで全体がほぼ透明ジェルになっていきます。

**手順3** この後の作業は先ほどの粒からお試しで行った作業と同じとなります。

★上記が基本的な作業の流れとなり、他の素材でも同じ流れとなります。お試しを行った後に、実際のDIYにて作業を行って下さい。

### プラスのワンポイント



※本品は繰り返し使用できるという性質上、接着力の点では強固ということではありません。やり直しや素材を今後二度とはがさなくて良い前提で接着力を強めたい場合は使用量を増やすことやアシストとして別売の「アグスターピングジェル、インスタジェル」を補助でご使用下さい。接着前にジェル状になった本品へ何か所か垂らしてから接着します。

※接着後に本品の接着面が固化して白くなります。白系の素材では目立ちにくいですが、また時間が経過後は苔が生えたり自然に近くなっていきますが、この**見た目が気になる場合は別売のつぶつぶグルー専用ぼかしカラーリング**を使って本品自体にぼかしカラーを加えるオプションがございます。

★3色をご用意しました。



※本品は接着用の道具としてはもちろんですが、ジェル状にしてから放置することで任意の形に固化致します。この性質を利用して手作りのオリジナル水槽用シェルター等、オブジェクトをDIY作成も…

★オプション別売のぼかしカラーリング（黒）も使用して左図のようなオリジナル水槽用シェルターも作れる？！

※本紙が文字のサイズ等で見にくい場合は弊社webサイト上でも使用方法がございます。こちらも参考にして下さい。

※オプション別売のつぶつぶグルー専用ぼかしカラーリングをご使用の際は使用方法に若干のコツがございます。ご使用の際はそちらの商品の説明書をお読み下さい。

**AZOO JAPAN INC.**  
http://www.azoo-jp.com

輸入発売元アズージャパン株式会社  
〒242-0029 神奈川県大和市上草柳8-2-29

商品に関するお問い合わせ **TEL:046-200-1221**

商品改良のため予告なく仕様変更等がある場合がございます。予めご了承下さい。